

## 令和4年度第2回石狩市地域公共交通活性化協議会 議事録

**日時** 令和4年6月24日（金）10時00分～12時00分

**場所** 石狩市役所5階 全員協議会室

**出席者** 小鷹雅晴会長、岸邦宏副会長、田村奈緒美委員、木村直樹委員、竹内努委員、小島義広委員、桑山渉委員、高眞一委員、池田篤司委員、久保田貴浩委員、經亀真利委員、岩佐英世委員、佐藤雅治委員、柴田肇委員、小山玲子委員、渡邊恭子委員、早川真樹委員

**事務局** 企画課交通担当課長 上窪健一、企画課交通担当主査 江島紀和  
中央コンサルタンツ株式会社 大嶋課長 堀主任 木下さん

**傍聴者** 2名

### 次第

1. 開会
2. 各委員自己紹介
3. 議題
  - (1) 地域公共交通確保維持改善事業に係る計画認定申請（令和5補助年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請）について
  - (2) オンデマンド交通による実証運行について
  - (3) 石狩市公式LINEによる路線バスの情報発信について
4. その他
5. 閉会

=====**審議内容の記録（審議経過、質疑、意見等）**=====

※ 以下の質疑・意見については、○は委員発言要旨、●は事務局発言要旨

### 1. 開会

### 2. 各委員自己紹介

### 3. 議題

- (1) 地域公共交通確保維持改善事業に係る計画認定申請（令和5補助年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請）について（※事務局より説明）

●地域公共交通確保維持改善事業に係る計画認定申請（令和5補助年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請）について <資料3>

※委員からの質疑・意見なし

- (2) オンデマンド交通による実証運行について（※事務局より説明）

●オンデマンド交通による実証運行について<資料4>

【質疑・意見】

○実証実験は10月と11月から実施するということか。

●その通りです。

○運転手の免許資格はどうなるのか。

●一般乗合路線バス事業者、タクシー事業者、貸切バス事業者の3社に担っていただく予定

○料金体系はまだ今のところはっきりわからないということか。

●料金については、契約前だが想定としては、バスより高くタクシーより安い、中間の金額を検討。現在の概数だと、通勤オンデマンドは距離に応じて400円若しくは600円、市内オンデマンドについては300円を想定している。

○通勤オンデマンドに協力していただける企業は、どれくらいあるのか。現在、把握している分だけでも良いので、教えてほしい。

●バス事業者、タクシー事業者、貸切バス事業者、3~4社と協議をさせていただいている。詳細については、契約前のため、差し控えさせていただく。

○新港地域に通われている事業者、通勤先の事業者はどれくらいあるか。

●ユーザー側の企業様については、現在10社程度にヒアリング・インタビューさせていただいている。予算決定後、さらに団地連絡協議会等とも連携させていただきながら、さらに、ユーザーの掘り起こしを行っていきたいと考えている。

○過去のデマンド交通やバスに対するアンケート調査では、利用したい意向が高くなかったことから、一人でも多く使ってもらうためPR方法を検討してほしい。

また、去年は特に大雪だったということもあるが、新港地域は歩道除雪をしていないため、冬季期間の利用者の安全とバスの安全を図るために、歩道の除雪も市として対応してもらえるのか。

●市民への周知としては、仕組みも難しいということもあるため、しっかりと説明会を開いた中で、使い方や今後の展開を周知していきたい。

もう一つの大雪に関して、現在、市でも昨年を受けて除雪体制の見直し、市民の方々

への周知の仕方、急に大雪になったときに、除雪体制がどうなのか、歩道の除雪の体制も含めて、鋭意検討している最中です。この結果は、雪が降る前に、皆様にお示した中で、次年度の雪対策をやっていきたいと考えている。

○実験の目的は、システムが成立するかどうかをやりたいのか、あくまでも公共交通空白地を埋めることをやりたいのかどちらなのか。

●目的は、新たな交通手段の確立であり、通勤や、日中の乗り継ぎが多いといった課題を解決するものとして新たな交通体系を確保したいということ。新たな新技術の決済等は、あくまで手段であって、目的はあくまで移動しやすくすること。

○システムの導入が上手くいくのかどうかということの主眼とするのであれば、あえて電話受付しなくても良いのではないかと思ったが、目的が新たな交通体系の確保であるのであれば、地元の意見を聞きながら議論が必要なのかと思った。

○市内の方はドアツードアで乗合を想定して運行しようとしているのか。

●市内オンデマンドは乗合を考えている。乗るのはミーティングポイント、家の前ではなく、近くのバス停等、そこまで行って乗っていただく仕組みで、予約が重なれば乗合という形を考えている。

○バス停まで歩いて行くならば、乗り継ぎをしなくて良いが、バスに乗るのと変わらないのではと思うが。

●バス停までの部分については、交通事業者とも協議をしているところだが、ドアツードアになってしまうと、タクシーとの差別化が図れないという所と、利用者宅がわかってしまうことによるリスクも考えられることから、今の想定としては、バス停や郵便局、コンビニ、そういった施設を含めた形で、ドアツードアよりも、タクシーとバスの中間という位置づけで考えている。

○例えば、3丁目線から5丁目線の場所へ行くのに、乗り換えをしないでダイレクトに行けるということか。

●その通りです。

○運賃を取るとなると、これは協議会での承認が必要になってくるのではないかと考

えられるが、この先、事後報告になる可能性もありそうだが、制度上問題がないのか。

●運賃について、事後報告にならないように、また、次回以降も、公共交通活性化協議会を開催させていただき、運賃を含めて、予算の確定後、より具体的な運行計画をお示しさせていただき、協議させていただきたいと考えている。

(3) 石狩市公式 LINE による路線バスの情報発信について（※事務局より説明）

●石狩市公式 LINE による路線バスの情報発信について<資料5>

※委員からの質疑・意見なし

## 5. その他

・北海道運輸局札幌運輸支局からの情報提供

## 6. 閉会

令和4年7月29日 議事録確定

石狩市地域公共交通活性化協議会

会長 小鷹雅晴